

1 計画の目的・区域・期間・位置づけ

策定の目的 国・静岡県の自転車活用推進計画を鑑みつつ、本市の実情に応じた自転車の活用に関する総合的な方針や施策などを示すもの

対象区域 浜松市全域 **計画期間** 10年間で目標年次は2029年度

2 浜松市の自転車に関する現状と課題、地域特性など

- 人口当たり自転車関連事故件数が静岡県平均を大幅に上回る
- 市民の約7割が歩行者の立場から自転車を危険と感じたことがある

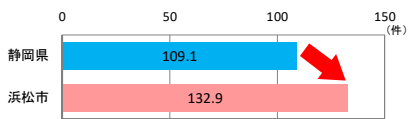


図 人口10万人当たり自転車事故件数(平成30年)
資料:平成30年交通年鑑(静岡県警察本部)

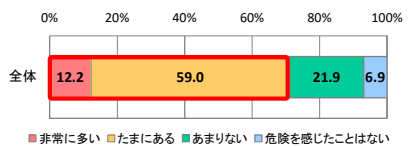


図 歩行者の立場から自転車を危険に感じること
資料:市民、高校生アンケート調査(平成23年10月～11月)

- 市内移動の約7割が自動車利用と過度な依存状態
- 中心市街地の駐輪場は混雑しており、盗難や火災が発生。駐輪場から溢れた自転車が周辺歩道に放置

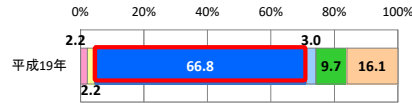


図 市内の交通手段別分担率
資料:第4回西遠都市圏総合都市交通体系調査



図 市営駐輪場の混雑状況 火災発生状況 放置自転車の状況

- 2030年代には3人に1人が高齢者の見込み
- 大都市の中で健康寿命が3期連続日本一
- 自転車を活用した健康づくりやスポーツイベントを推進

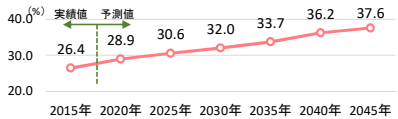


図 浜松市の高齢化率の推移
資料:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所予測

表 20大都市の健康寿命トップ5

都市名	男		女	
	年齢	都市名	年齢	都市名
1 浜松	73.19	浜松	70.19	
2 神戸	72.54	名古屋	75.86	
3 静岡	72.53	相模原	75.35	
4 名古屋	72.47	福岡	75.22	
5 相模原	72.35	新潟	75.2	

資料:2016厚生労働省研究班調査



図 天竜サイクルツーリズム 2019

- 浜名湖等の恵まれた自然観光資源を生かしたサイクリング環境を有する



図 浜名湖一周サイクリングルート“ハマイチ”

3 計画の基本方針

基本方針1 【安全・安心な通行環境の確保】
自転車利用者等が安全・安心して移動できる環境づくり

- 1、自転車ネットワーク整備の推進
- 2、安全な自転車走行空間の整備
- 3、自転車交通安全教育の推進
- 4、自転車の点検・整備の促進

基本方針2 【自転車利用拡大】
自転車の利活用を高める

- 1、公共交通との連携の促進
- 2、駐輪場対策の推進
- 3、自転車が果たす役割の啓発・検討

基本方針3 【サイクルスポーツ・健康】
サイクルスポーツの振興と自転車活用による健康増進

- 1、サイクルスポーツの振興支援
- 2、サイクリングによる健康増進

基本方針4 【ツーリズム】
サイクルツーリズムの醸成

- 1、世界に誇るサイクリングロードの整備
- 2、サイクリスト受け入れ環境の充実
- 3、サイクリングイベント等の充実
- 4、他の交通事業者との連携促進
- 5、外国人サイクリストの誘客促進
- 6、シェアサイクルの改善による利便性・安全性の向上

目標

○自転車・レクリエーションに利用できる環境の創出

安全・安心

健康・スポーツ

自転車利用拡大

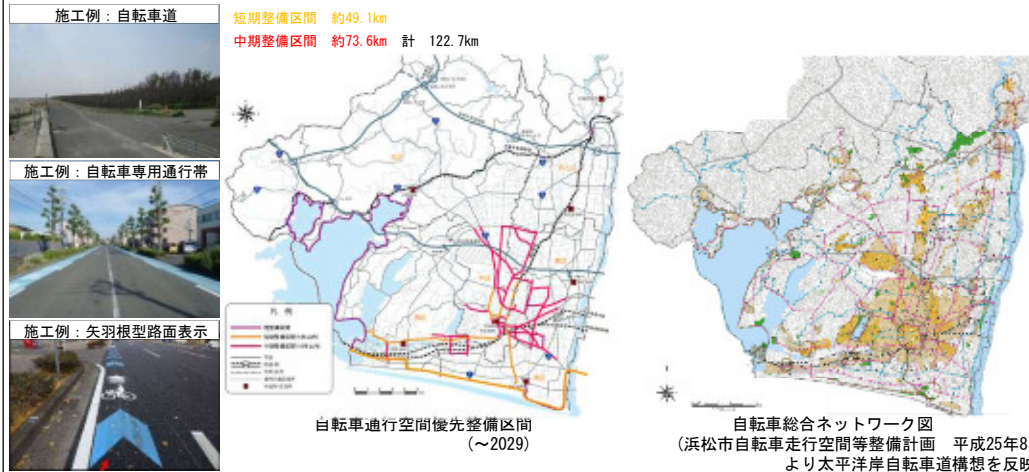
ツーリズム

基本方針1

【安全・安心な通行環境の確保】
自転車利用者等が安全・安心して移動できる環境づくり

【自転車通行空間の創出】

自転車総合ネットワーク計画のうち、自転車事故が多い区間、自転車交通量が多い区間、高校生の自転車通学における危険箇所が連続する区間などを考慮し、優先整備区間として位置付けネットワーク化をはかる。



指標

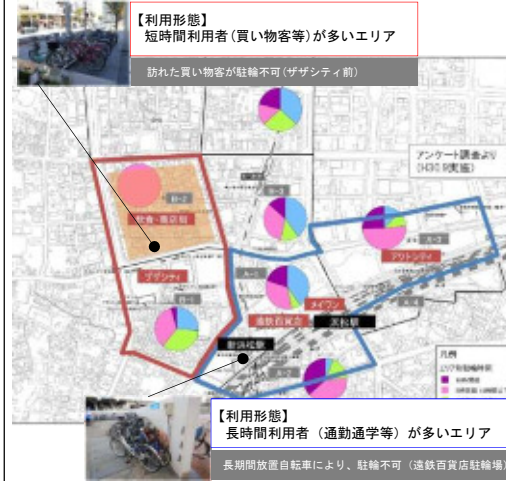
自転車走行空間整備延長
【2018年】42.18km ⇒ 【2029年】164.88km

基本方針2

【自転車利用拡大】
自転車の利活用を高める

○質の改善 (案)

利用形態に応じた質の改善の検討。



指標

駐輪台数充足率(需要に対する駐輪可能台数の割合)
【2018年】77% ⇒ 【2029年】100%

【駐輪場対策】

駐輪需要に対応した駐輪場の適性配置、駐輪場の適正利用に向けたハード・ソフト対策。
JR浜松駅周辺の市営駐輪場を対象に、「量」と「質」の改善を目的とした駐輪場再整備計画を策定。

○量の改善 (案)

駐輪場を増設・再配置し、需要に見合った駐輪容量の確保。



基本方針3

【サイクリススポーツ・健康】
サイクリススポーツの振興と自転車活用による健康増進

【運動の習慣化】

高齢化の進展を控え、自転車の利活用を通じた運動の習慣化、日々の健康づくりをサポ-ト。

○イベント開催

公園等公共施設の使用許可、サイクルイベントの開催支援。



浜松市民スポーツ祭(自転車競技)の様子

○健康・増進

浜松市健康応援サイト「WELはままつ」を活用して、自転車関連イベントなどを紹介。



浜松市健康応援サイト

指標

健康寿命
【2016年】男性 73.19歳
女性 76.19歳
⇒ 男女ともに2016年時より延伸

基本方針4

【ツーリズム】
サイクルツーリズムの醸成

【国内外サイクリストの誘客の促進】

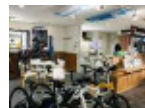
世界に誇るサイクリングロードとしての整備、サイクルイベントの充実等(走行環境・受入環境・情報発信体制・取組体制の構築、充実化、確実な運営)により、国内外サイクリストの誘客を促進。

※ 浜名湖周遊自転車道(通称「ハマイチ」)

浜名湖周遊自転車道は、浜松市と湖西市の2市にまたがり、風光明媚な浜名湖を1周する日本風景街道にも登録されているサイクリングロード。日本サイクリング協会の第1回大会が行われるなど、古くからサイクリングコースとしての人気を誇る。

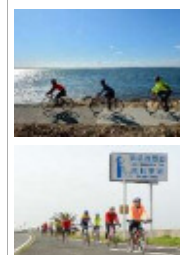
○受入環境 ゆ〜りんターミナル はままつがーど

自転車の相互乗捨てが可能なおシャサイクル(ゆ〜りんターミナル)を浜名湖畔7か所に設置。また、浜松駅前情報案内所「The GATE HAMAMATSU」内で「はままつがーど」がシャサイクルを実施。



○受入環境 BICYCLE PIT

自転車駐輪スペースの提供や、メンテナンスの無料貸し出しを行う施設を「BICYCLE PIT」として情報提供。



浜名湖1周サイクリングルート「ハマイチ」ルート、「ハマイチ」ロード



○走行環境

誰でも迷わず安全かつ安心に走行するため、路面に自転車の走行箇所を明示(矢羽根型路面表示)し、要所には分かりやすい案内看板を設置。



案内看板(サイン)、矢羽根型路面表示

○受入環境 ハマイチイベントの開催

毎年3月に「浜名湖サイクリング」及び「ハマイチガイドライド」を実施。ロングライドとファミリー向けの2コースと複数のガイド付コースを設定。



○情報発信 ハマイチWEB・LINE@

日本語・英語・繁体語の多言語ホームページにより、周辺観光施設やサイクリングイベント等について情報提供。併せて、SNS「LINE」@を活用しサイクリストへのタイムリーできめ細やかな情報提供。

○取組体制 浜名湖サイクリング推進会議

静岡県、浜松市、湖西市、観光関係団体、サイクリング事業者等で構成する「浜名湖サイクリング推進会議」及び湖西市と浜松市を圏域とする「浜名湖観光圏」にて各種事業を実施。

指標

旅行者満足度
【2018年】84% ⇒ 【2029年】90%

基本方針	施策	具体的な措置
基本方針1 「自転車利用者等が安全・安心して移動できる環境づくり」	1 自転車ネットワーク整備の推進	① 自転車の安全利用に向けたネットワーク整備の推進
	2 安全な自転車通行空間の整備	① 自転車・歩行者ともに安全に安心して通行できる自転車通行空間の創出 ② 通学路・通園路の点検による危険箇所の抽出と対策検討 ③ 自動車の速度抑制や通過交通の排除に向けた「生活道路」「ゾーン30」対策の推進 ④ 自転車の車道通行について、自動車・自転車双方の理解促進
	3 自転車交通安全教育の推進	① 街頭等における、通勤通学時の自転車利用者やドライバー向けの啓発・指導等の実施 ② すべての市立小中学校における学校安全計画の策定および、交通安全教育の推進 ③ 中高生や高齢者を対象にした、自転車シミュレーター等による交通安全教室の実施 ④ 新中学1年生への、自転車安全利用五則を印刷したクリアファイルの配布・意識啓発 ⑤ 県の交通指導員会連合会による、地域交通指導員会会長向けの研修への参加呼びかけ
	4 自転車の点検・整備の促進	① サイクルマップなどを掲載したパンフレットへの、自転車の事前確認・点検等に関する事項の掲載・意識啓発 ② 自転車の点検・整備に関する講座・講習会等の実施
基本方針2 「自転車の利活用を高める」	1 公共交通との連携の促進	① 鉄道駅・バス停の駐輪場情報の地図作成者への提供によるサイクル&ライドの促進 ② 交通事業者がサイクル&ライド駐輪場を設置する際の事業費補助による整備促進 ③ 転入者へのバス路線図や鉄道時刻表等の提供によるモビリティ・マネジメントの推進
	2 駐輪場対策の推進	① 「量」と「質」の改善を目的とした、JR浜松駅周辺の市営駐輪場の再整備計画策定 ② 浜松市自転車等駐車対策検討会による継続的な駐輪対策の検討 ③ 高校新入生を対象とした、浜松駅周辺の駐輪場位置や放置禁止区域が記載されたパンフレットの配布・啓発 ④ 駐輪場への長時間駐輪対策として、「通勤シェアサイクル」の導入可能性を検討
	3 自転車が果たす役割の啓発・検討	① 運輸部門からの二酸化炭素排出量軽減対策として、「COOL CHOICE」の普及啓発によるマイカー等から自転車への転換促進の啓発 ② 災害発生後における自転車活用の検討
基本方針3 「サイクリススポーツの振興と自転車活用による健康増進」	1 サイクリススポーツの振興支援	① 自転車スポーツイベントの継続的な開催（浜松市民スポーツ祭等） ② 公園等の使用許可による、自転車関連イベントの開催支援
	2 サイクリングによる健康増進	① 浜松市健康応援サイト「WELはままつ」における、サイクリングコース・イベント等の情報掲載
基本方針4 「サイクルツーリズムの醸成」	1 世界に誇るサイクリングロード整備	① 大規模自転車道（太平洋岸自転車道及び浜名湖周遊自転車道）の整備推進 ② 案内サインの多言語化の推進 ③ 浜名湖一周サイクリングルート「ハマイチ」の活用
	2 サイクリスト受け入れ環境の充実	① 「サイクリストウェルカム」の登録促進 ② 「Bicycle Pit」の登録促進 ③ スポーツ車のシェアリング等を行うサイクルステーションの設立支援 ④ インターネットを利用した情報提供の充実 ⑤ 浜名湖一周サイクリング「ハマイチWEB」の多言語化 ⑥ トイレや休憩施設等、必要な情報を盛り込んだサイクリングマップの作成 ⑦ ガイドサイクリスト向け英語講座等の開催による、外国人向けガイドの質の向上 ⑧ 幅広いサイクリスト獲得のためのサイクリングルートの設定
	3 サイクリングイベント等の充実	① 幅広いターゲットを対象にしたサイクリングイベントの継続的な開催
	4 他の交通事業者との連携促進	① 天竜浜名湖鉄道の輪行バッグの周知促進 ② 舟運を活用したショートカットルートの利用促進 ③ 市内タクシー会社等の協力による自転車も含めた輸送体制の確立
	5 国内外サイクリストの誘客促進	① 三湖連携でのプロモーションの推進による知名度向上と誘客促進 ② 広域ルートや他のルートとの連携による知名度向上と誘客促進 ③ 台湾・日月潭でのプロモーションの推進による知名度向上と誘客促進 ④ サイクリングロードを活用した観光商品の造成
	6 シェアサイクルの改善による 利便性・安全性の向上	① シェアサイクル事業者の連携による、自転車整備・点検体制の検討 ② シェアサイクルの予約一元化の検討 ③ 浜名湖一周サイクリング「ハマイチWEB」での情報発信 ④ シェアサイクルの相互乗捨て